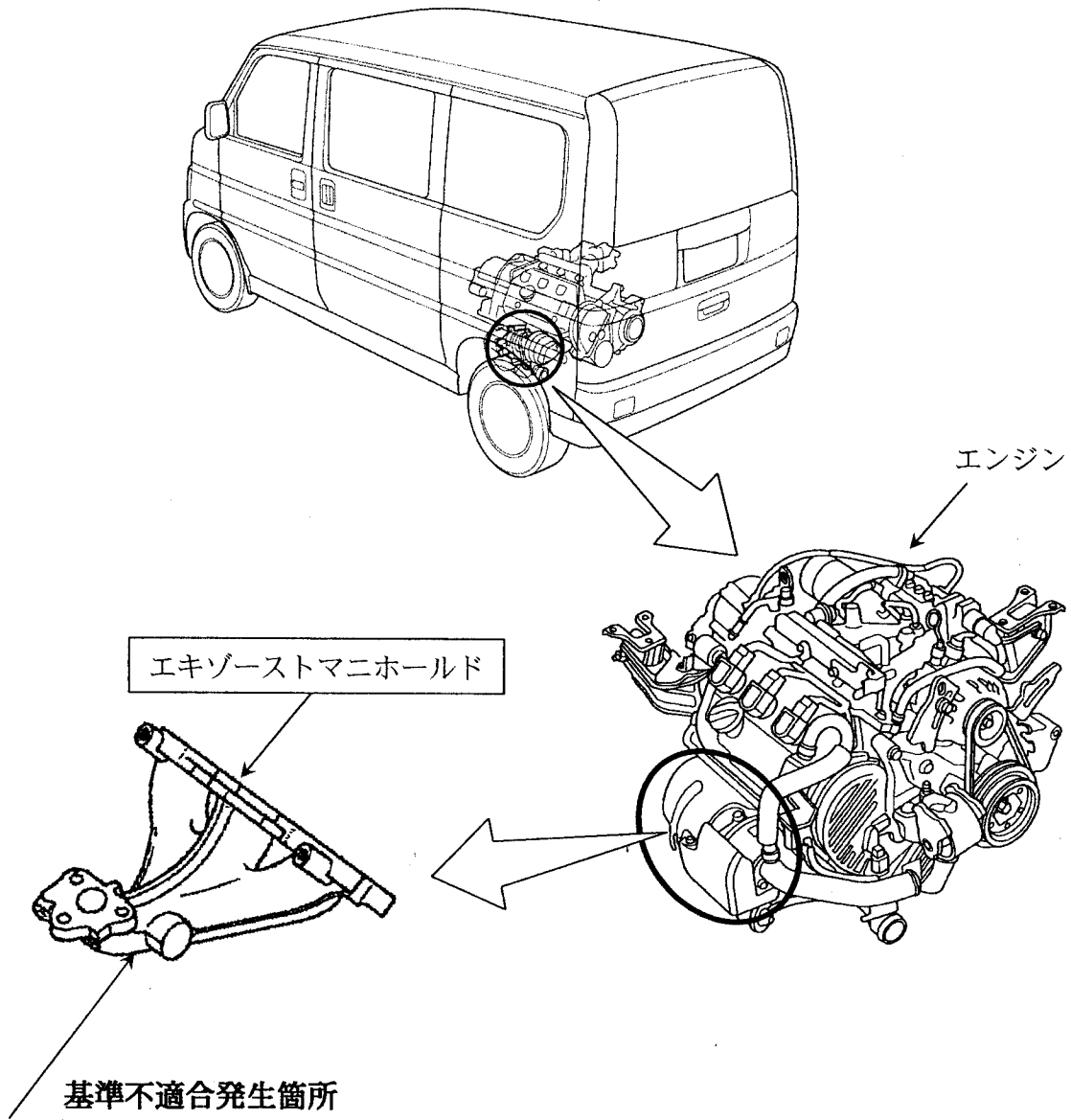


# 改善箇所説明図①



ターボチャージャ付車両において、エキゾーストマニホールドの材質が不適切なため、登坂路走行を頻繁に繰り返し行くと、熱による膨張・収縮で亀裂が生じ、排出ガスが漏れるものがある。

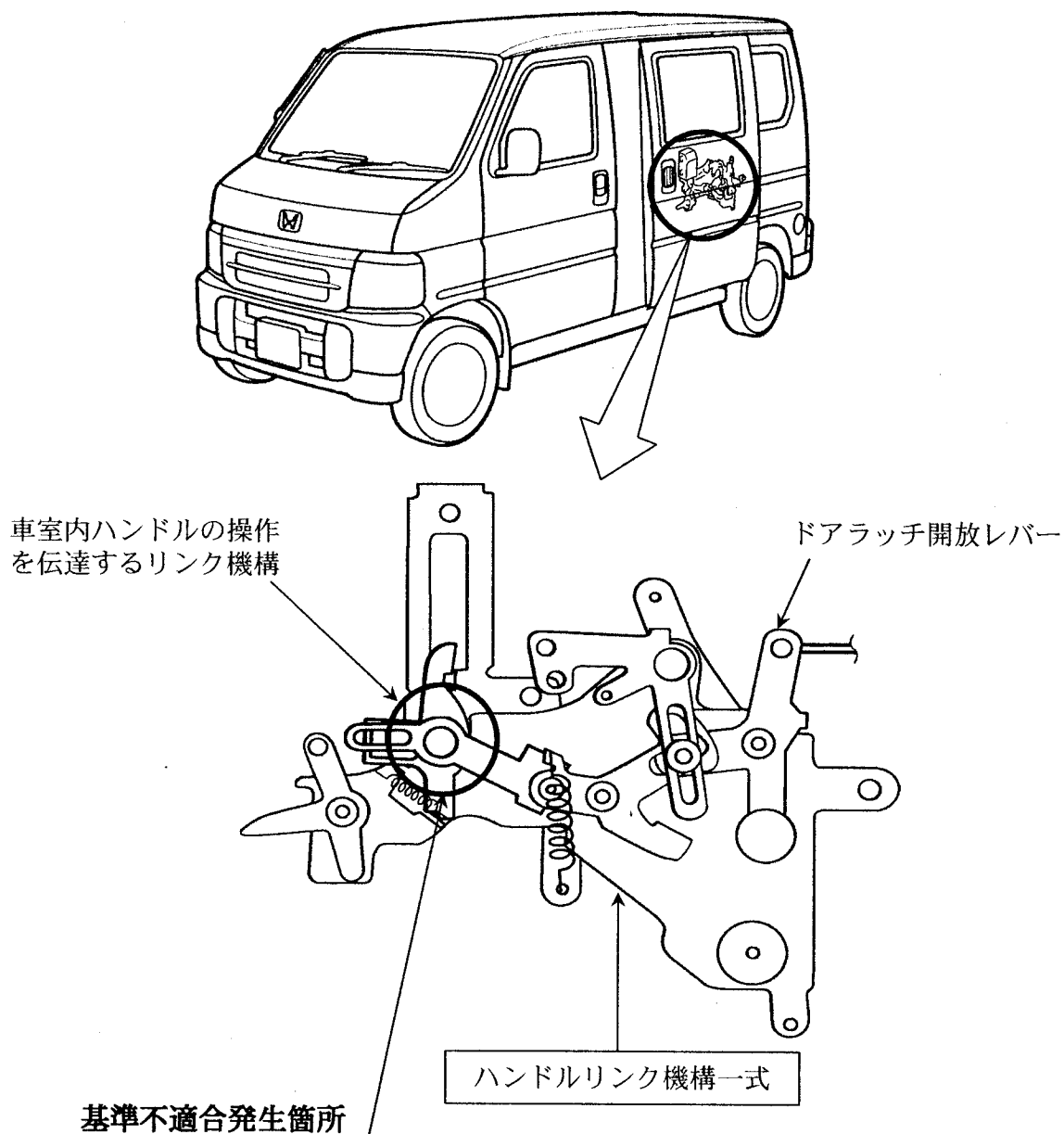
## 改善の内容

全車両、エキゾーストマニホールド一式を対策品と交換する。

注：  は交換部品を示す。

識別：運転席ドアロアヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。

## 改善箇所説明図②



左側スライドドアの車室内ハンドルの操作を伝達するリンク機構のプレス成型が不適切なため、リンク機構が円滑に作動せず、車室内からスライドドアを開けた後、リンク機構の一部が戻らないものがある。そのため、スライドドアを閉めてもドアラッチが開放状態のままとなり、最悪の場合、走行中に左側スライドドアが開くおそれがある。

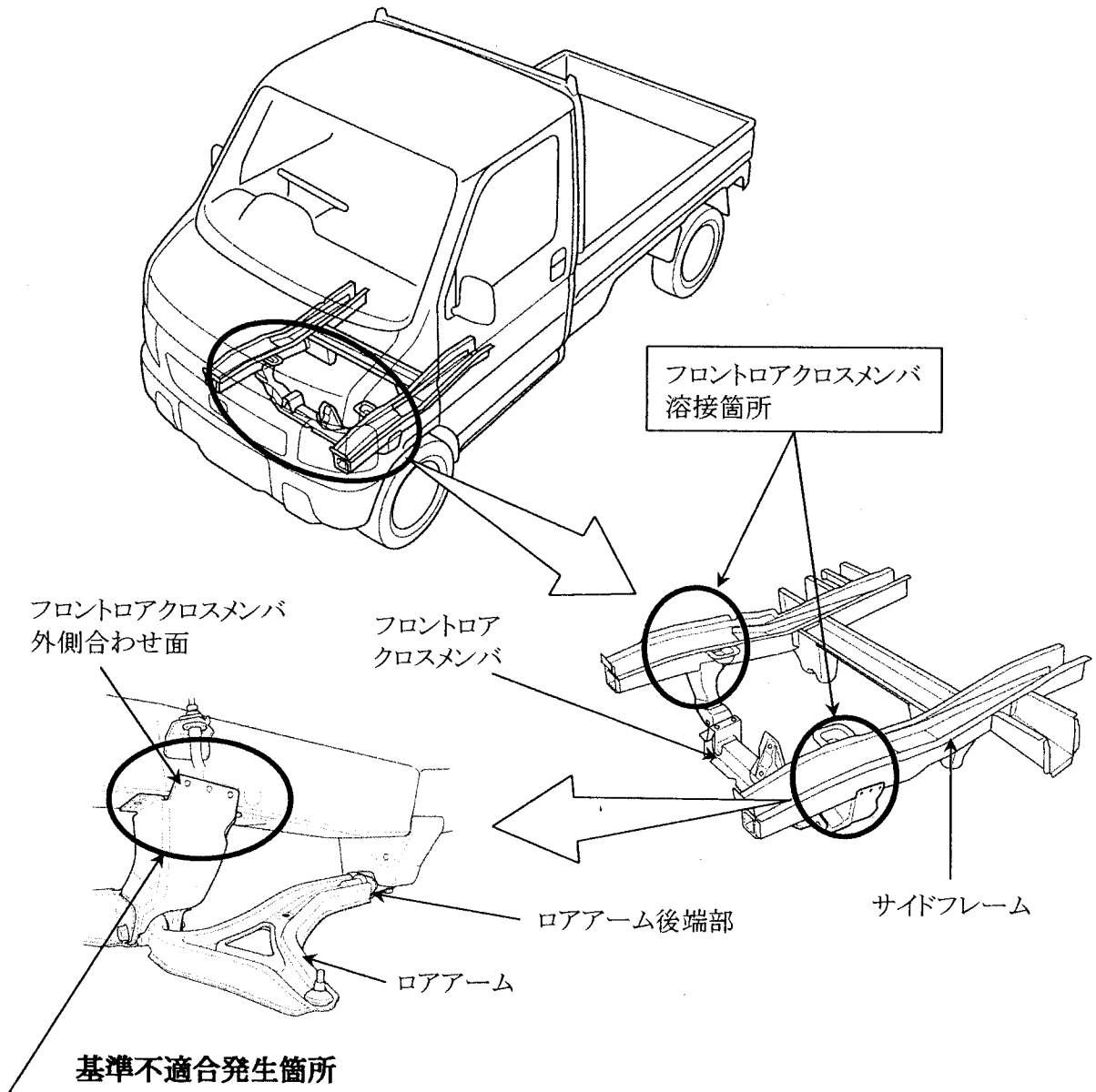
### 改善の内容

全車両、左側スライドドアのハンドルリンク機構一式を良品と交換する。

注：  は交換部品を示す。

識別：運転席ドアロアヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。

## 改善箇所説明図 ③



サイドフレームとフロントロアクロスメンバとの溶接が不適切なため、溶接部の強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、走行時の振動等により当該溶接部が剥がれ、フロントロアクロスメンバの位置がずれて、最悪の場合、前車輪を取り付けているロアアーム後端部が抜け、走行不能となるおそれがある。

### 改善の内容

全車両、フレームとフロントロアクロスメンバの溶接箇所を点検し、フロントロアクロスメンバの溶接が剥がれているものは板金修理を実施する。溶接箇所に亀裂があるものは亀裂部を溶接する。点検結果剥がれや亀裂がないものはフロントロアクロスメンバの外側合わせ面に補強用リベット留めを追加する。

注：  は点検及び修理箇所を示す。

識別：運転席ドアロアヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。